

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 35 報】 ◆◆◆ （所管：危機管理課）

6 月 1 日 宇陀市消防団と宇陀市が財団法人日本消防協会を通じて、東日本大震災で消防資機材に大きな被害を受けた宮城県石巻市の雄勝（おかし）消防団に小型動力ポンプ付積載車を無償譲渡により支援することが、本日付の奈良新聞に紹介されました。

宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 5 班（篠田・田中組）から報告メールが着信しました。主な内容は次のとおりです。

- ⇒ 市内にはまだおびただしい瓦礫が残されている。台風で冠水した道路や大潮の影響で今にも海水が越えそうな海岸線など、我々の常識では考えられない状況であること。
- ⇒ そんな中に、重機や人力などによる瓦礫の撤去や道路補修、跡地での業務再開店舗など、復旧・復興に動く多くの人々の姿に、人間の底力の一端を垣間見たこと。
- ⇒ 第 6 班への事前引継ぎ。

昨日付けの奈良新聞と読売新聞奈良版に掲載され、昨日午後 6 時 30 分からの NHK 奈良放送局の番組『ならナビ』と午後 8 時 45 分からのニュース、並びに本日午前 7 時 45 分からの NHK 関西発のニュースで紹介された、奈良県銘木協同組合宇陀支部（葛本卓雄代表）が被災地の宮城県気仙沼市へ「吉野杉の杖を送る」という話題が、本日午後 2 時 05 分からの NHK 番組『震災に負けない お元気ですか日本列島』でも全国放送されました。気仙沼市民会館の避難所に派遣されている行政支援チーム第 5 班（篠田・田中組）からも避難所の中のテレビで聴取したと報告がありました。

現在宇陀市が実施している宮城県気仙沼市に対する行政支援については、当初の予定通り 6 月 8 日で 6 班編成の第 1 クールは終了します。しかし本日、気仙沼市から連絡があり、宇陀市と同じ気仙沼市民会館避難所で支援していた島根県浜田市のチームが 6 月 28 日で支援を終了するため、改めてそれ以降の市民会館避難所の運営支援を、宇陀市にお願いしたいとのことでした。この申し出を受けて、災害支援対策本部では浜田市との引継ぎも含めて 6 月 26 日頃から職員を派遣する方向で検討にはいります。

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ （所管：危機管理課）

6 月 1 日 県銘木協同組合宇陀支部（葛本卓雄代表）が宇陀産吉野杉の間伐材で作った杖 600 本を、宮城県気仙沼市の避難所に送ることについて、昨日 5 月 31 日午後 6 時 30 分から NHK 奈良放送の番組『ならナビ』と本日午前 7 時 45 分からの関西発のニュースで報道されました。また、昨日の奈良新聞、読売新聞奈良版に続き、毎日新聞奈良版でも報道されました。

奈良県は、既にストックしていた民間からの救援物資について、被災地との調整が完了したため、明日 2 日に被災地へ救援物資の

最終便を送る予定です。

◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5月20日 県は、4月1日から1ヶ月間に採取した降下物（1ヶ月間の累積）から、下記のとおり放射性物質が検出され、本県ではセシウム134とセシウム137は過去3年間検出されていないことから、福島第一原子力発電所事故の影響ではないかと考えられると報道発表しました。

ただし、検出された放射線量はごく微量で、この降下物から1年間に受ける放射線量は0.124マイクロシーベルト/年に相当し、自然界から1年間に受ける放射線量（2400マイクロシーベルト/年）の1万分の1以下に相当する極めて低い値であり、健康に影響はない。ということです。

⇒ 試料の採取期間と採取場所：平成23年4月1日～平成23年5月2日 奈良市（県保健環境研究センター）

⇒ 放射性物質：ヨウ素131 10.3メガベクレル/㎥

セシウム134 4.7メガベクレル/㎥

セシウム137 4.5メガベクレル/㎥ ※セシウムは、大阪府検出値（4月採取分）の約半分の値

なお、県景観・環境局環境政策課では、今回の福島第一原子力発電所事故に伴い、文部科学省からの委託を受けて環境放射能調査を強化し、定時降下物と上水（蛇口水）の測定を毎日おこなった結果を県のホームページで公表しています。これまでの毎日の測定では、定時降下物及び上水（蛇口水）から放射性物質は検出されず。また空間放射線量率についても通常の値（平成19～21年の奈良県の平常値：0.046～0.08マイクロシーベルト毎時）で推移しているということです。

◆◆◆ 宇陀市の義援金報告 ◆◆◆ (所管：厚生保護課)

総額20,346,082円（個人：19,385,223円、義援金箱：960,859円）

※平成23年5月27日現在

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

⇒ 提供申出累計：902件

⇒ 被災地との調整済み累計：195件

平成23年5月10日現在

※県の救援物資の受入れは、4月11日から一時停止しています。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況は下記のとおり。

⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数100戸 内) 入居決定18戸 (入居人数：59人)

⇒ 市町村営住宅：64戸 (21市町村) 内) 入居決定 4戸 (入居人数：12人)

⇒ 公的 (UR) 賃貸住宅：入居可能予定数80戸 内) 入居決定 3戸 (入居人数： 6人)

⇒ 公的 (雇用促進) 住宅：入居可能予定数68戸 内) 入居決定 1戸 (入居人数： 4人)

平成23年5月23日 16:00現在

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。併せてご了承下さい。